

西暦 2022 年 5 月 30 日

山形大学医学部附属病院にて診療を受けている、受けたことのある方、ご家族の方、ご親戚等の方へ（研究に関する情報）

当院では、下記の研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究で得られた試料や情報（以下、「臨床情報」という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の使用を許可しない旨の、ご連絡がない場合においては、研究へのご理解をいただいたものとして実施します。

なお、個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、研究の実施により、あなた、またはあなたのご家族・ご親族等の個人情報が流出することはないと考えております。

また、研究の成果を公表するときにおいても個人情報を提示することはありません。

皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、問い合わせ先まで、ご連絡ください。

① 研究課題名	原発性肺癌に対する多孔式および単孔式胸腔鏡手術の周術期成績の比較検討と今後の課題
② 倫理審査委員会承認番号	2022-76
③ 研究期間	2017年6月1日から2023年12月31日まで
④ 研究の目的	近年、欧州やアジアを中心に、原発性肺癌に対する単孔式（創が一箇所）の肺切除術の報告が増加し、本邦でも本術式を導入する施設が増加しています。本術式は整容性、術後疼痛の軽減などのメリットが報告されていますが、1方向からのアプローチにより鉗子の干渉、操作性の制限や、助手のサポートがほぼ得られないなど、習熟した手術手技が要求される術式です。当院では1990年代から多孔式胸腔鏡手術に着手し、また2017年6月からは単孔式胸腔鏡手術を導入しております。これらの手術を受けた患者様の情報を分析し、検討することによりさらに良い手術方法を確立するための一助となると考えています。
⑤ この研究の対象となる方	2017年6月1日から2022年5月31日までに本院に来院

	し原発肺癌に対し多孔式、単孔式の胸腔鏡手術を受けた方
⑥ 研究の方法	この研究では、肺癌を患っている方で胸腔鏡手術という治療を受けた方 511 名を対象に、治療した当時の臨床情報データを用いて、統計解析を実施します。
⑦ 利用する情報	検査データ、診療記録（年齢、性別、術中出血量、手術時間、術後ドレーン留置期間、術後入院期間、術後合併症の有無等）等
⑦他機関への臨床情報の提供	【提供がない場合】 本研究の実施にあたり、他の研究機関に臨床情報が送付されることはありません。
⑧ 臨床情報の管理責任者	管理責任者氏名：鈴木 潤
⑨ 臨床情報を利用する者	研究責任者氏名：内田徹郎 主任研究者氏名：鈴木 潤 分担研究者氏名：塩野知志 渡辺 光 捧 貴幸 佐藤開仁
⑩臨床情報の利用停止について	いつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、あなたに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。 ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。
⑪問い合わせ先	山形大学医学部附属病院 第二外科 〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2 TEL : 023-628-5342 Fax : 023-628-5345 E-mail : junno58@med.id.yamagata-u.ac.jp 担当者氏名：鈴木 潤

以上